

令和元年度第4回八千代市障害者自立支援協議会  
会議録

開催日時 令和2年2月6日 10時00分から11時30分まで

開催場所 福祉センター4階 第3・第4会議室

出席委員 出席委員一覧のとおり

事務局 青井部長，小倉課長，市原副主幹，柳澤主査補，木村主任主事，大多和主任主事，笠松主任主事，平木主任主事

議 題

- (1) 委員委嘱について
- (2) 会長及び副会長の選出について
- (3) 所属分科会の指名について
- (4) 障害者差別解消支援地域協議会委員等の選出について
- (5) 八千代市第5期障害福祉計画及び八千代市第1期障害児福祉計画の中間評価について
- (6) その他
  - ① 障害者に係わる協議会等の開催結果について
  - ② こども分科会啓発活動の実施結果について
  - ③ 障害者理解啓発事業の実施について
  - ④ 事務連絡

公開・非公開 公開

傍 聴 人 0名（定員5名）

## 【議事録】

事務局 定刻となりましたので、ただいまより、令和元年度第4回八千代市障害者自立支援協議会全体会を開会させていただきます。本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は、司会進行をさせていただきます、障害者支援課の柳澤でございます。よろしくお願いいたします。

本会は、「八千代市審議会等の会議の公開に関する要領」の規定に基づき、会議を公開するとともに、会議録作成のため、会議の状況を録音させていただきますので、予めご了承ください。本日は、傍聴の届出はありませんでしたので、お知らせいたします。

本日ご欠席の委員様のご報告をさせていただきます。古川委員、森田委員、江間委員、湯浅委員、國島委員、小川委員、林委員より欠席のご連絡をいただいております。

はじめに、委嘱状についてご案内いたします。令和元年12月20日から令和3年12月19日までの2年間を任期とする委嘱状を机上にて配布させていただきました。時間の都合により申し訳ありませんが、ご査収の程よろしくお願いいたします。

続きまして、配布書類の確認をさせていただきます。配布書類は、「次第」、「席次表」、「委員名簿」、「本協議会設置要綱」、資料1「八千代市障害者自立支援協議会委員所属分科会一覧（案）」、資料2「八千代市障害者差別解消支援地域協議会設置 運営要領」、資料3「八千代市第5期障害福祉計画数値目標PDCAサイクル管理シート」、資料4「こども分科会啓発活動の実施結果について」、資料5「障害者理解啓発事業講演会」となります。不足等がございましたらお申し出いただければと思います。よろしければ、配布書類の確認は以上となります。それでは、開会に先立ちまして、健康福祉部長青井よりご挨拶申し上げます。青井部長、よろしくお願いいたします。

青井部長 本日はご多忙のところ、令和元年度第4回八千代市障害者自立支援協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃より本市障害福祉行政の推進につきまして多大なるご支援とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。本協議会では、昨年12月に20名の方を委員として委嘱させていただきました。お引き受けくださった皆様、誠にありがとうございます。

令和元年度は、第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画の中間評価について、本協議会からご意見をいただいております、ご意見や計画の進捗を踏まえ市として取り組む課題について進めてまいります。また、来年度の障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画の計画策定においては、引き続きご協力賜りますようお願いいたします。計画の策定のみならず、どーんと祭の出店、秀明大学飛翔祭での福祉避難所等の啓発活動、チャレンジドオフィスやちよ、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの整備、差別解消支援地域協議会など、様々な事業にご協力いただき、障害者計画の基本理念であります「住み慣れた地域で共に暮らし、共に参加する」ことの実現について、お力添えいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

今後とも皆様とともに更なる連携・協力体制を構築し障害福祉施策の充実が図れるよ

う、尽力してまいりたいと考えております。本日は、限られた時間ではございますが、貴重なご意見を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

事務局 青井部長、ありがとうございました。

本日の議題は、(1)委員委嘱について、(2)会長及び副会長の選出について、(3)所属分科会の指名について、(4)障害者差別解消支援地域協議会委員等の選出について、(5)八千代市第5期障害福祉計画及び八千代市第1期障害児福祉計画の中間評価について、(6)その他①障害者に係る協議会等の開催結果について、②こども分科会啓発活動の実施結果について③障害者理解啓発事業の実施について、④事務連絡となっております。

会議の議事進行は会長に行っていただくことになっておりますが、阿部前会長、大久保前副会長ともに令和元年12月19日で委員の任期が満了しており、令和元年12月20日から再度委嘱させていただいておりますが、現在は会長、副会長が不在となっております。つきましては、議題(2)にて会長の選出がされるまでの間、事務局にて議事進行を務めさせていただきたいと思っております。よろしいでしょうか。

(異議なし)

事務局 ありがとうございます。それでは、議事進行は、事務局の障害者支援課長小倉が行わせていただきます。

事務局 障害者支援課長の小倉です。よろしくお願いいたします。議題(1)委員委嘱についてですが、まず委員の皆さまをご紹介させていただきます。委員の皆さまにおかれましては、ご紹介の際にご起立、ご一礼いただきたいと思います。

事務局 障害者支援課市原です。委員の紹介をさせていただきます。まず、新たに委員になられた2名です。こいけ障害者支援センター 西澤 昇太郎委員です。八千代市社会福祉協議会 斎藤 和枝委員です。

続けて引き続き委嘱させていただいた委員です。八千代地域生活支援センター 恩田 信幸委員です。なごみの家 木崎 早苗委員です。にじと風相談室 吉野 眞里子委員です。ふるさと学舎八千代 小原 正律委員です。友愛みどり園 大久保 健委員です。八千代市児童発達支援センター 木村 友和委員です。八千代市教育委員会指導課 石坂 恭子委員です。千葉県立八千代特別支援学校 横尾 直人委員です。八千代市身体障害者福祉会 阿部 裕一委員です。八千代精神障害者家族会かたくり会 石田 和美委員です。八千代市手をつなぐ親の会 大庭 久美委員です。また、本日欠席されていますが、障害者就業・生活支援センターあかね園 國島 弘委員。まめの木 森田 美恵子委員。船橋公共職業安定所専門援助部門 小川 洋委員。東京成徳大学応用心理学部福祉心理学科 江間 由紀夫委員。船橋人権擁護委員協議会 林 眞晟委員。あと少し遅れていますが、グリーンヒル 日高 和枝委員。八千代病院 門倉 眞人委員について、引き続きお願いします。

次に、事務局の紹介をさせていただきます。

健康福祉部 部長の青井です。障害者支援課長の小倉です。障害者支援課 柳澤です。

障害者支援課 木村です。障害者支援課 大多和です。障害者支援課 笠松です。障害者支援課 平木です。以上です。

事務局 続きまして、議題(2)会長、副会長の選出に入ります。会長、副会長の選出につきましては、本協議会設置要綱第5条の規定により、委員の皆様の互選により定めることとなっております。ご推薦いただける方はいらっしゃいますか。

木崎委員 会長に阿部委員を推薦いたします。

事務局 ありがとうございます。他にご推薦いただける方はいらっしゃいますか。

恩田委員 大久保委員を推薦します。

事務局 会長に阿部委員、副会長に大久保委員のご推薦がありました。委員の皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

事務局 ご異議がないようですので、会長は阿部委員、副会長は大久保委員に決定させていただきます。阿部会長、大久保副会長は、会長席、副会長席へ移動をお願いします。

(会長、副会長移動)

事務局 それでは阿部会長、大久保副会長より一言ご挨拶をいただきたいと思えます。

阿部会長 ご推薦いただきました阿部です。自立支援協議会は様々な問題、特に相談支援に係る協議会で、いろんな協議会へ自立支援協議会として参加していて、それをいかに自立支援協議会へフィードバックさせていくか、問われるところと思えます。要綱自体は平成25年度以降改正されていないが、それ以降も権利擁護や生活困窮いろんな課題も抱えているので、単なる協議会ではなく、皆さんで協議できる協議会にしていきたいと思っています。みなさんの協力で会ができるとうよいと思っています。

大久保委員 私も阿部会長と同じように、こうやって集まっているのだから、市内の福祉ニーズを、課題を見つめられる協議会にしていければと思っています。

事務局 それでは会長副会長の選出がなされましたので、議題(3)所属分科会の指名についての議事進行は、阿部会長にお願いしたいと思えます。なお、健康福祉部長青井につきましては、他の公務のため、ここで退席させていただきます。

(部長退席)

事務局 では、阿部会長、進行をよろしくをお願いします。

阿部会長 それでは、議事を再開します。議題(3)所属分科会の指名について、また議題(4)障害者差別解消支援地域協議会委員等の選出についてですが、関連する議題となりますので、一括して事務局から説明をお願いします。

事務局 議題(3)所属分科会の指名について、ご説明させていただきます。所属分科会につきましては、本協議会設置要綱第6条第2項の規定により、会長が指名することとなっております。継続となる委員につきましては、引き続き同じ分科会として資料1「八千代市障害者自立支援協議会委員所属分科会一覧(案)」のとおり案を作成いたしました。新たに委嘱された西澤委員につきましては、こいけ障害者支援センターに所属されており、生

活支援のご経験もあると伺っており、分科会に、また、齋藤委員につきましては、社会福祉協議会に所属されており、各機関の連携についてお力を発揮していただけるようつなげる分科会とさせていただきます。ご審議をお願いいたします。また、議題(4)障害者差別解消支援地域協議会委員等の選出について、資料2「八千代市障害者差別解消支援地域協議会設置運営要領」をご覧ください。要領第3条第1項の規定により、障害者自立支援協議会の代表者として会長、副会長、各分科会から1名ずつの計6名を選出していました。委嘱等に伴い、改めて委員を選出していただきたいと思っております。また、八千代市障害者虐待防止地域連絡会委員については、今まで阿部会長が、八千代市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定・推進協議会委員については吉野委員が委嘱されております。今回ご希望される委員がいらっしゃらないようであれば引き続きというかたちはいかがでしょうか。説明は以上です。

阿部会長 ありがとうございます。まず議題(3)所属分科会の指名につきましては、事務局より所属分科会案が提示されておりますが、引き続きの委員は今までの分科会ということでしょうか。(異議なし)次に新たに委嘱された西澤委員、分科会でしょうか。(異議なし)齋藤委員よろしいでしょうか。(異議なし)それでは分科会は事務局案のとおりとします。

続いて議題(4)障害者差別解消支援地域協議会委員の選出につきましては、従前と同じく会長、副会長、各分科会から1名ずつの計6名を選出するというようによろしいでしょうか。(異議なし)

それでは、特にご異議等ないようですので、会長の私と、大久保副会長は引き続き障害者差別解消支援地域協議会委員を務めさせていただきます。各分科会からの委員についてまた、分科会長、副分科会長について事務局より説明願います。

事務局 要綱第6条第3項の規定により、分科会長、副分科会長は分科会に属する委員の互選により決定することとなっておりますので、本協議会終了後、各分科会にて決定していただければと思います。あわせて、次回の分科会の予定や障害者差別解消支援地域協議会委員についても、本協議会終了後、あわせてご協議いただき、事務局へご報告いただければと思います。

阿部会長 事務局の説明を整理させていただきますと、全体会后、分科会ごとに集まり、分科会長、副分科会長を決める。また、次回の分科会日程等を決める。また、差別解消支援地域協議会委員については、全体会の会長、副会長が定めることは決まっていますが、各分科会から1名ずつを決める、ということになります。また、八千代市障害者虐待防止地域連絡会の委員については私が、八千代市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定・推進協議会の委員については吉野委員が参加していますが、委嘱に伴い改めて、ご希望される委員はいらっしゃいますか。

(希望なし)

希望される方がいらっしゃらないので、私と吉野委員が引き続き参加することよろし

いでしょうか。

(委員賛成)

委員の賛成がありましたので、そのようにいたします。続きまして、議題(5)八千代市第5期障害福祉計画及び八千代市第1期障害児福祉計画の中間評価について、事務局よりお願いいたします。

事務局 第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画の中間評価についてご説明します。あらためてのお話となりますが、計画の中間評価を行って、これは計画のPDCAサイクルの実施という考え方に基づき、計画 Plan 実施 Do 評価 Check 改善・改良 Action の4段階を繰り返す考え方です。資料については右上に 資料3-1とあります、ホチキス止めされたものとなります。

今年度2回目10月11日の自立支援協議会で前年度の計画の事業を実施し、実績をまとめた進捗状況、計画Pと実施Dを説明させていただき、また、市の評価としてCの部分までお示ししておりました。

この内容を前提に、3-1から3-5までのシートを各分科会に割り振り、各分科会より12月の自立支援協議会全体会で市へご意見をいただいたところとなっています。

本日は、いただいた意見や計画の進捗状況を踏まえ、来年度の計画の推進に当たり八千代市の改善・改良点を各資料右下のAの部分にまとめさせていただきました。順番にご説明させていただければと思います。

資料3-1、福祉施設の入所者の地域生活への移行となります。Aの部分ですが、地域生活者の増加という点で、分科会での検討では、本人や家族の希望に沿った生活を選べる必要があるという視点でのご意見をいただきました。地域生活支援拠点等の設置を目指し、まずは本人やご家族の意向を聞きながら地域での生活を支援できる体制を整備すること、また相談支援事業所連絡会を毎月開催し、引き続き相談支援の強化が図れるよう取り組みます。また、くらし分科会のご意見でいただいていた強度行動障害の方を受け入れられるグループホームを建設できるという点は、ご承知のとおり国・県の基準等によることとなりますが、今後の法改正等の情報を収集、周知できるよう努めたいと考えております。

資料3-2、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築です。協議の場の設置について、内部評価にもありますとおりつなげる分科会等で検討を進めており、また、同分科会と合同開催した習志野圏域での精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業実務者会議の検討を踏まえ、市の考えを取りまとめ設置に向けて取り組むこととします。

資料3-3、地域生活支援拠点等の整備です。八千代市における拠点は、まずは相談からという考えのもと、拠点の利用者像、3障害への対応方法、緊急の場合などの課題を検討しながら、設置に向けて取り組むこととします。

分科会の検討において、他制度との関係を整理していく必要とのご意見、ご意見のとお

りですので、地域生活支援拠点等の業務内容を決定する中で整理していくこととします。また、策定予定の地域福祉計画における地域づくりとの検討とあわせ、各福祉分野との連携、協働について検討します。

また、いただきましたご意見の地域生活支援拠点の業務を担える法人や団体が市内に増えるようこの協議会にいらっしゃっていただいている事業所さんをはじめ、各事業所連絡会等を通じて、引き続き連携を深めたり、少しずつ連携の範囲を広げていけるよう取り組みます。

次に資料3-4、福祉施設から一般就労への移行です。

一般就労するものの数は、引き続き目標を上回るよう就労移行支援事業所等の利用を希望する方に対し情報提供及び相談対応を行います。また、就労移行支援事業の利用者数については、サービスの利用実績を踏まえ、次期計画にて目標値を設定します。

次に資料3-5、障害児支援の提供体制の整備等です。

児童発達支援センターの整備等はすでに実施済みの内容となっておりますが、次年度の取り組みとしては、児童発達支援センターにつきましては、児童発達支援センターすてっぷ2 1大和田整備計画に基づき、整備（建替え）を進めます。また、市で開催しています医療的ケア児支援協議会で医療的ケア児について関連分野の支援を調整するコーディネーターなどの議論もでており、これに関わる検討も進めます。

資料は以上ですが、こども分科会ででました意見の中で「主な活動指標」の「児童発達支援」の人数を児童発達支援センターとその他の児童発達支援事業所に分けて検討したいというところで、利用実績や児童発達支援センターに確認をしましたところ、児童発達支援センターで児童発達支援のサービスを利用することになるクラスの定員が36人とのことで、一時的な欠員を除き、その数字で一定とのことでした。あわせて、そのうちの4、5人は一般の児童発達支援事業所も併用している状況となっております。保育所等訪問支援については、ご意見のとおりサービス提供事業所の参入と児童発達支援センターでの利用増が要因となっているところですが、児童発達支援センターによると、卒園児を中心にサービス量が増加してきていることですが、児童発達支援センターの人手が十分でないとのことで、これ以上の大幅な増加は難しい状況とのお話を伺っております。居宅訪問型児童発達支援についても、十分な周知をとのことでご意見をいただきました。課内ケースワーカーにも確認させていただき、同サービスの対象者数は多くないことから広く周知を行っている状況ではありません。医療機関などでの周知は必要となる場所ですので、効果的な周知方法などが見つかりましたら実施できればと思います。

最後に、障害者計画と障害福祉計画の計画期間についてもご意見をいただきました。来年度の体制のもとで、詳細は決定していくこととなりますが、協議会からいただきました、両計画の同時期での改定が可能となるような策定を進めていく予定です。

説明は以上です。

阿部会長 ありがとうございます。障害者支援課の説明について、ご意見・ご質問等ご

ざいますか。

吉野委員 千葉県障害児等療育支援事業の活用の文言が、抜けてはいないでしょうか。

事務局 第5期障害者計画・第1期障害児福祉計画に従い載せていますので、その点は出てきていません。

阿部会長 他に意見はありますか。意見がないので、中間評価についての議題はこれとということでもよろしいでしょうか。(委員賛成) 続きまして、議題(6)その他①障害者に係わる協議会等の開催結果について、事務局より報告願います。

事務局 本日も多くの関係する協議会の委員を障害者自立支援協議会から選んでいただいています。それらの会議の開催結果について、ご説明させていただければと思います。

まず、地域福祉計画に係る協議会について、福祉総合相談室の末友主査にきていただいております。よろしく願います。

末友主査 地域福祉計画及び地域福祉活動計画の進捗状況について、ご説明させていただきます。昨年度より、庁内の調整を図るために、八千代市地域福祉計画及びに地域福祉活動計画庁内調整会議を設置し、副市長を議長とし、健康福祉部長、子ども部長、また各所属長を構成員とし、協議を行っております。今年度につきましては、外部機関や地域団体等を委員とした策定・推進協議会の設置し、第1回目を8月、第2回目を1月に開催し、第3回目を2月26日の開催を予定しております。策定推進協議会におきましては、自立支援協議会より、吉野委員にご選出いただいております。障害者や障害児、ご家族の立場として、分科会等でもご協議いただき、ご意見をいただいております。この場をお借りして、御礼申し上げます。今年度の取り組みとして、市民アンケート調査につきましては、10月に郵送にて3000通を送付いたしました。1,177通の回収があり、回収率は、39.3%となっており、現在集計作業を行っております。また、関係団体等アンケートにつきましては、12月に郵送にて実施いたしました。合計339団体に実施いたしました。高齢分野、障害者分野、障害児分野、NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体等となっています。回収状況は、151通となっており、回収率は、45.9%となっており、現在分野別の集計を行っております。数値の集計だけではなく、今後の地域福祉活動において、協働できるよう活用してまいりたいと思います。周知啓発活動として、9月21日に市民会館小ホールにて、地域福祉シンポジウムを開催いたしました。障害者団体の方、民生委員、ボランティア、自治会等、141名にご参加いただきました。淑徳大学山下興一郎准教授による基調講演、地域で活動されている5人のシンポジストをお招きし、パネルディスカッションを行いました。障害者の立場から、ふるさと学舎高津の小林健一様よりご発表いただき、福祉教育や地域共生についてお話しいただき、参加者のアンケートでも、当事者の意見として考えさせられた、胸に響いたというような意見をいただきました。

また、今年度は、7圏域ごとに、課題抽出を主とした地域懇談会の開催もいたしました。民生委員・児童委員や地域包括支援センター、地域子育て支援センター、社会福祉協議会コミュニティーソーシャルワーカー等の地域の相談員をはじめ、福祉サービス事業所

や自治会、支会等、地域住民の方にも参画いただき、共に地域を考える機会となりました。

今年度中に、骨子案を作成し、次年度につきましては、地域懇談会の開催、素案作成、パブリックコメントを実施してまいります。自立支援協議会の皆様におきましては、今後とも、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

事務局 続けて、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の実務者会議について、障害者支援課木村よりご説明します。

事務局 今年度は包括ケアシステムは医療をテーマとしてつなげる分科会と合同開催としたところと、精神科病院、当事者ご家族などとも協議してきています。直近では、一般科病院と障害者も多いということで、一般科病院のソーシャルワーカーをお呼びして合同開催という形で会議をしています。いろいろな立場の方がいろいろな視点で障害者を見ていることが再確認されたこと、多職種の方が集まっているんな視点で話し合うのが貴重な場となったのではとの意見をいただいています。なお、包括ケアシステムについては、多くの解決すべき課題があり、医療以外の様々な分野の方との協議の場が必要なのではないかという話がある中、つなげる分科会のみで進めるのは難しいとの話もでています。今後自立支援協議会ともどのように連携協議できるか、ご相談できればと思っています。

事務局 あと2件、私から、7月10日開催、医療的ケア児支援協議会。こちら30年度に1回開催して、31年度に入って2回目、出来上がったばかりの会議です。千葉県の報告書を委員の皆さんに確認していただき課題の抽出を図ったり、災害時のヘルプカード、市で作っているものがあります。避難行動要支援者の登録をした方が災害時の避難に役立てるため作っているものですが、例えば医ケア児については電源確保の計画について書くには様式をどのようにしたらよいかとか、またその計画を本人が作ったままにするのか、計画をチェックする体制にできないかとか、電源を個々人で準備するのか、市で何か用意できるのか。また医ケア児の方の個別会議もやってはどうかとの意見が協議会からでていくところですよ。

最後に10月30日開催、障害者差別解消支援地域協議会について、手話言語条例の報告、ヘルプマークの配布の報告、昨年度協議会で差別解消に係るパンフレットの作成に取り組んだことからその配布状況の報告、商工会議所の会員に障害者雇用に係るリーフレットの配布等の活動を行っています。また、委員の皆様から合理的配慮に係る事例の提供を受け、委員で意見交換するなどの取り組みを行っています。

大久保委員 差別解消支援地域協議会について、事業所ごとにいい取り組みを紹介してもらったり、生の声というか、こういう対応してもらったとか、みなさんの事業所でも、まちでこういうことをしてもらったというような、障害者差別について、街はあつたかいのか冷たいのか、情報をいただけると、理解啓発の仕方なども違ってくると思うので、事例があれば協力をお願いしたいと思います。

阿部会長 虐待防止地域連絡会はどうですか。

事務局 虐待防止地域連絡会を1月21日に開催しております。平成26年度から、高齢者の分野と一緒に統計報告させていただき、事例も報告しています。今年度は障害者支援課が事務局となり、障害の事例でよい評価をいただけたのではと思っています。障害者手帳がない方についての事例で、警察と連携したりとか、分離を図って病院へ連れていき、今は施設で生活をしているというケースを報告させていただきました。虐待について、皆様も何かありましたら市のほうへご連絡をお願いします。

阿部会長 虐待防止地域連絡会へは私がでているのですが、高齢者と障害者で合同でやるのがどうでしょうというアンケートがあったところです。児童の虐待もあるので障害担当でよく精査して進めてほしいと思います。

地域福祉計画について、吉野委員何かあればお願いします。

吉野委員 地域福祉計画ははじめての計画で、また上位計画にあたるということなので、八千代で趣旨目的をしっかりとした形で目標と役割分担とを決めて、わがごとまるごとということになると思うのですが。社会福祉協議会、医師会、保育園の方いろんな方がいて、いろんなことが聞けるといいと思います。大きな目で八千代市の地域福祉計画を策定するのは荷が重いなと責任を感じます。

阿部会長 地域福祉計画の中心は社協ということで、斎藤委員は何か。

斎藤委員 こどもたちに地域福祉計画をわかってもらおうということで、福祉教育で小学校を、中学校、高校、いろんなところに行っています。当事者のお話をしてもらっていて、当事者と学校を回っているのもっとたくさんの方に一緒に参加してもらえたらと思います。地域で一緒に参加できる取り組みをやっているのも、よろしくをお願いします。

阿部会長 地域包括ケアシステムは恩田さん、何か。

恩田委員 精神包括ケアシステムの代表者会議を実施し、病院の院長等にきてもらって協議をしており、議事録を準備し提供したい。精神包括のところ、今年度は事務局の木村さんが報告したとおりで、医療について重点的に進めているところで、他にも課題はあると思っています。防災は台風15号、19号がきて緊急度が高まっていると思う。また新たな課題として8050がある。引きこもり、介護との連携など議論が必要と考えている。また、住まいのところで、住宅確保要配慮者、居住支援協議会を他市でやっているときいたり、そのあたりは、精神包括だけでは進まないし、他の部署の方々ともご指導ご意見いただき進めなければと思っています。くらし分科会の委員としてその問題をどこがやるのかと思ったときに、それはくらしがメインかなと。くらしは広い。広すぎてしまうところもある。くらしでは今、福祉避難所などや生活介護事業所の集まりを進めているところだが、今後、くらし分科会でそれを扱っていかねばとも考えているので、今後くらし分科会でどのような意見をいただけるかお話できればと思います。

大久保委員 先日恩田さんと話をし、それぞれの分科会で抱えている課題はおおよそ見えてきているのかなと思いますが、見えてない課題、見過ごしている課題はあるのではないかなと、くらしという大きさに困惑もしているが、それぞれの分科会の中でくらし分科会

は福祉避難所と生活介護事業所の横のつながりに取り組んでいるが、細かな課題もみると拾いきれないくらいの課題がある。そんな中で分科会が一つ重点的にやるのは労力があるが、委員の得意分野を生かしながら、分科会にそれをあげ、全体会にあげていく、地域の課題について全体会で協議できるかたちを作っていけたらいいと思うが、協議会の設置要綱に問題がある。他市の協議会を見ると形も変わっているの、形を変えることも視野にいれ、自立支援協議会の在り方を前に進めていかなければならないかと思います。

阿部会長 地域ニーズを拾い上げるには、自立支援協議会がどのような形で進めるかということが課題としてあると思う。分科会にすべて任せていいのか、以前分科会にぶら下がりを作ったこともあるが、専門分野の埒外でうまく回らなかったこともあった。組織の問題については最初に立ち返り、地域のニーズがこういうのがあるということからはじめてもよいのかと思います。恩田さんから福祉避難所の話がありましたので、福祉避難所の進捗をお願いします。

事務局 民間の福祉避難所のマニュアルを作成中で、先日社会福祉法人5法人、八千代市と協定締結しているところにマニュアルの案を送らせていただいている。意見をもとに訂正などして、今年度中にマニュアルを策定できたらと思っています。

阿部会長 昨年、千葉で大きな台風被害があつて、福祉避難所をどう立ち上げるか、いろんな課題があつた。災害時にどのような形で災害弱者を救っていくのかは自立支援協議会に課せられた課題かと思います。ではその他の②こども分科会啓発活動の実施結果についてをお願いします。

事務局 こども分科会の活動の実施結果について、資料4表面に概要の報告、裏面に写真を載せています。去年も出店しており、今年も出店しました。八千代市小中学校特別支援学級作品展で、日時は1月24日から26日、28日（月曜休館）となっています。場所はオーエンス八千代市市民ギャラリーでした。内容は、療育支援マップや、こどもの事業所のリーフレットをおいて、地域住民に知ってもらおうよう行いました。来客3495名で、去年は3208名なので、300名ほど多かったです。また、療育支援マップも70部ぐらいおいていたところ残り7部でしたので、かなり取っていただいたと思います。周知できたと思っており、来年度もいろいろ周知できればと思います。

阿部会長 その他③障害者理解啓発活動事業の実施について、をお願いします。

事務局 資料5になります。毎年障害者理解啓発事業として行っています。障害者計画の基本目標3心通わせ、支えあう意識・体制づくりというところで、障害者への理解の促進する事業を行っています。今年度のテーマは、昨年、手話言語と障害者のコミュニケーション条例ができたことで、このようにろう者に関すること、手話に関することの2部構成で3月7日、生涯学習プラザで実施します。ホームページでも受付を開始していて、市内小学校などにもチラシの配布をして周知を図って参ります。モンキー高野さんと千葉県のア月さんに講師をお願いしているところです。

阿部会長 ではその他事務局よりをお願いします。

事務局 次回の協議会について、ご連絡します。次回は令和2年度第1回の会議として、6月ころに開催できればと思います。事前にてメールにて日程調整をさせていただきますので、ご協力をお願いします。

阿部会長 何か皆様からありませんか。ないようですので、この後は分科会ごとにお集まりいただき、分科会長、副分科会長、障害者差別解消支援地域協議会委員の選任と、初回の分科会開催の日程調整などを行っていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。それでは以上をもちまして、令和元年度第4回八千代市障害者自立支援協議会全体会を閉会いたします。

#### 出席委員一覧

	委員名	所 属	分 野	要綱
1	恩田 信幸	八千代地域生活支援センター	指定相談支援事業者を代表する者	第2号
2	木崎 早苗	なごみの家	指定相談支援事業者を代表する者	第2号
3	吉野 眞里子	にじと風相談室	指定相談支援事業者を代表する者	第2号
4	小原 正律	ふるさと学舎八千代	指定障害福祉サービス事業者を代表する者	第3号
5	大久保 健	友愛みどり園	指定障害福祉サービス事業者を代表する者	第3号
6	西澤 昇太郎	こいけ障害者支援センター	指定障害福祉サービス事業者を代表する者	第3号
7	木村 友和	八千代市児童発達支援センター	指定障害児通所支援事業者を代表する者	第4号
8	日高 和枝	グリーンヒル	指定障害児通所支援事業者を代表する者	第4号
9	石坂 恭子	八千代市教育委員会 指導課	教育機関を代表する者	第7号

10	横尾 直人	千葉県立八千代特別 支援学校	教育機関を代表する者	第7 号
11	阿部 裕一	八千代市身体障害者 福社会	障害者団体を代表する者	第9 号
12	石田 和美	八千代精神障害者家 族会かたくり会	障害者団体を代表する者	第9 号
13	大庭 久美	八千代市手をつなぐ 親の会	障害者団体を代表する者	第9 号
14	斎藤 和枝	八千代市社会福祉協 議会	権利擁護関係団体を代表する者	第1 0号